

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【保健学研究科保健学専攻（博士前期課程）】

保健学研究科（博士前期課程）では、人材養成の観点に立った本研究科の教育目標に沿って定めた学位授与の方針（ディプロマポリシー）を修得した者に対して、それぞれの学位を授与します。

【看護学領域】

1. 知識・理解の修得
 - ・専門領域をより深く理解できるための高度な専門知識
 - ・専門領域と密接に関連する他領域の専門知識に関する包括的・多角的な理解
2. 当該領域固有の能力の修得
 - ・臨床・地域保健医療活動の場において、根拠をもって看護を実践できる能力
 - ・臨床・地域保健医療活動の場において、問題の本質を見抜き、倫理的・科学的に分析し解決できる能力
 - ・保健・医療・福祉の教育機関において、教育・研究を実践する能力
3. 汎用的能力の修得
 - ・さまざまな状況において、自己管理、協働、プレゼンテーションができる能力
 - ・他領域の専門職者と連携して保健医療の発展に寄与する能力

【放射線技術科学領域】

1. 知識・理解の修得
 - ・高度な専門知識と技術を基盤として理論や確立途上のエビデンスを追求し、それに対応した実践や新しい技術の開発ができること
2. 当該領域固有の能力の修得
 - ・生体からの情報について、生物学的、化学的及び物理学的手法を駆使して評価解析できる能力
 - ・評価解析結果を診断や治療へ応用発展できる能力
 - ・保健・医療・福祉の教育機関において、教育・研究を実践できる能力
3. 汎用的能力の修得
 - ・さまざまな状況において、自己管理、協働、プレゼンテーションができる能力
 - ・さまざまな専門職の連携によりチーム医療を実践し、新しい視点と戦略をもってリーダーシップを発揮できる能力

【生体検査科学領域】

1. 知識・理解
 - ・生体検査科学における高度な知識と技術
 - ・病態と細胞レベル・分子レベルにおける事象との関連についての理解
 - ・異分野の研究領域への関心と理解
2. 当該分野固有の能力
 - ・高度な専門知識と技術を基盤として理論や確立途上のエビデンスを追求し、それに対応した実践や新しい技術を開発できる能力
 - ・生体成分の新たな機能解析や検査技術開発に向けた研究に取り組める能力
3. 汎用的能力
 - ・倫理的な思考、問題解決ができる能力
 - ・国際社会で活躍できるコミュニケーション能力
 - ・医療における倫理と責任を強く自覚した保健医療分野のリーダーとしての能力

【総合リハビリテーション科学領域】

1. 知識・理解
 - ・リハビリテーション科学領域に関する専門的知識の体系的理解と、専門分野をより深く理解するための高度専門知識の修得
2. 当該分野固有の能力

- ・人間の運動から生活活動，障害予防までの広い範囲で障害を捉える視点
- ・リハビリテーション科学領域で扱う評価・治療，障害予防における科学的基盤を確立するための研究に取り組む能力
- ・健康や障害に及ぼす生活環境要因を具体化し，その因果関係の仕組みを探究して，説明できる能力

3. 汎用的能力

- ・さまざまな状況において高度なコミュニケーション，プレゼンテーションのできる能力
- ・保健医療の現状改善を図る実践能力を持って，地域の保健医療に貢献できる高度専門職としての役割を担い，リーダーシップを発揮できる能力